

学 年 2	区分・理論・実技 技術理論 (講 義)	科目名 総合エステティック (実務経験教員等による授業)	総時間 24	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シラバスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ 専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年) ・エステティックサロン実務(20年)、講師(2年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	田坪 由香里		CIDESCO(シデスコ)国際資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● 国際試験基準による教材の化粧品についての知識を学ぶ ● 総合的なトリートメント技術・知識について学ぶ ● 実践的サロン研修におけるトリートメントプランの作成について学ぶ				
※ 総合的なトリートメントプランの作成についての知識を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ CIDESCO国際エステ試験の基づいたトリートメントプランの内容と口頭試問により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術理論 (講 義)	科目名 応用メイクアップ (実務経験教員等による授業)	総時間 24	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シバラスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ 専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)、Maxメイクアップアーティスト(12年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官、メイクアップアーティスト資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● 場面に応じたメイク技術の知識を学ぶ ● 顔・肌分析を含めたカウンセリングメイク技術の知識を学ぶ ● 特殊メイク(アニマル・舞台メイク)などの特殊技術の知識を学ぶ				
※ カウンセリングメイクが場面に応じて行なえる技術知識を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ カウンセリングメイクに基づいた口頭試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術理論 (講 義)	科目名 ネイルテクニック (実務経験教員等による授業)	総時間 14	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ 規定教科書: 日本ネイリスト協会規定教科書「テクニカル・ベーシック」 ・ CIDESCO (シデスコ) シバラスによるテキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・ CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務 (42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
外部	中原 立恵	・ ネイルサロン経営 (17年)	日本ネイリスト協会認定本部講師	
外部	戸川 寛子	・ ネイルサロン経営 (16年)	日本ネイリスト協会認定登録講師	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● エステトリートメントに含まれるネイル・フットケアの知識を学ぶ ● 爪・肌の疾患と感染対策の知識を学ぶ ● カウンセリングケアが行なえる技術・知識を学ぶ				
※ ネイル・フットの総合ケアが場面に応じて行なえる技術知識を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ CIDESCO国際エステ試験の基づいた口頭試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術理論・選択 (講 義)	科目名 色彩学	総時間 24	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ 規定教科書: 日本パーソナルカラーリスト技術検定教科書 ・ 規定専用問題テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	片岡 美江	カラーコーディネーター(10年)	カラーコーディネーター資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● 色相環からパーソナルカラー、フォーシーズンカラーの知識を学ぶ ● 年3回のフラワーアレンジメントを作成して色彩感覚の知識を学ぶ				
※ アレンジメントを作成する事により、パーソナルカラーを認識して色彩感覚を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ アレンジメントの制作物とその取組み内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術理論・選択 (講 義)	科目名 フィットセラピー (実務経験教員等による授業)	総時間 6	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ 規定教科書: 日本アロマ環境協会教科書 ・ 規定専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPバンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	片岡 美江	・カラーコーディネーター(10年)、アロマコーディネーター(10年)	植物療法資格、アロマコーディネーター資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● アロマセラピーとして精油と種類・特徴・働きとその活用法を学ぶ ● フィットセラピー(植物療法)としてハーブティ種類とその活用法を学ぶ ● フィットセラピー(精油を含む)を活用したトリートメント種類とその活用法を学ぶ				
※ フィットセラピー(精油を含む)活用法とその働きの知識を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ 応用トリートメントについて口頭試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年	区分・理論・実技 技術理論・選択 (講 義)	科目名 ハイドロセラピー (実務経験教員等による授業)	総時間 6	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シバラスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ 専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	南野 陽子	・エステティックサロン実務(20年)	CIDESCO(シデスコ)国際資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● タラソセラピーの活用法とその作用について学ぶ ● サロンで行なわれる(世界含む)施術の知識について学ぶ				
※ サロンに取入れ可能なトリートメントとタラソセラピーの技術・知識を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ CIDESCO国際エステ試験の基づいた口頭試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年	区分・理論・実技 技術理論・選択 (講 義)	科目名 リフレクソロジー (実務経験教員等による授業)	総時間 6	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シラバスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ 専用テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	南野 陽子	・エステティックサロン実務(20年)	CIDESCO国際資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● リフレクソロジー(反射区)の活用法とその作用について学ぶ ● サロンで行なわれる(世界含む)施術の知識について学ぶ				
※ サロンに取入れ可能なトリートメントとリフレクソロジーの技術・知識を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ CIDESCO国際エステ試験の基づいた口頭試問の内容により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術理論・選択 (講 義)	科目名 追加課題 (実務経験教員等による授業)	総時間 38	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO(シデスコ)シバラスによるテキスト ・ エステ協会月刊テキスト ・ その他				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	田坪 由香里	・エステティックサロン実務(20年)、講師(2年)	CIDESCO国際資格	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● CIDESCO国際試験に基づいた「症例研究」のプラン作成 ● CIDESCO国際試験に基づいた「症例研究レポート」を作成 ● 研究レポートのプランを作成し卒業時に研究発表を行なう(「症例研究レポート」の発表とする事もあり)				
※ CIDESCO国際試験に基づいた「症例研究レポート」を作成提出および「研究レポート」提出と発表				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 ・ CIDESCO国際エステ試験の基づき個人作成の課題の内容と口頭試問により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術理論・選択 （ 講 義 ）	科目名 東洋医学	総時間 6	期 前・後期 どちらか
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ CIDESCO（シデスコ）シラバスによるテキスト ・ アーユルヴェーダー協会教科書				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験（年数）	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務（42年）	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
非常勤	松尾 かおり	・エステティックサロン実務（30年）	ICAM（イカム）エステ認定講師	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● アーユルヴェーダー施術を取入れたトリートメントの特徴・働きを学ぶ				
※ サロンに取入れ可能なアーユルヴェーダトリートメントの技術・知識を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				

学 年 2	区分・理論・実技 技術理論・選択 (講 義)	科目名 代替療法	総時間 6	期 前 期 後 期
使 用 教 科 書 ・ 教 材 等			担当教員	
・ 規定教科書:新エステティック学「選択科目編」 ・ エステ協会月刊テキスト				
勤 務	担 当 教 員	主 な 実 務 経 験 (年数)	有する資格	
常勤	岸 慶子	・CPパンドーラ代表、エステ・メイク指導実務(42年)	CIDESCO国際資格、協会登録試験官	
外部	時信 亜希子	・アーコルベーター実務、京大研究室	アーコルベータードクター	
目 的 ・ 到 達 目 標				
● エステティックサロンにおける様々な施術の種類とその特徴を学ぶ ● 自然療法の種類とその特徴を学ぶ				
※ サロンに取入れ可能なトリートメントと代替療法の技術・知識を習得する				
内 容				
● 詳細は教育計画および進行表による				
備 考				
● 成績は学則の採点基準に従い以下のように評価する。 ・ 定期試験・資格関連問題の点数により評価。 秀は100点満点で90点以上、優は80点以上90点未満、良は70点以上80点未満、可は60点以上70点未満とし不可は60点未満とする。 ただし、エステティック認定試験においては70点以上が合格のため、校内試験においても70点に満たない者は、再試験をしなければならない。また再試験合格者の成績は「可」評価とする。				